

授業科目名	教育インターンシップ実践演習
科目番号	CB11062
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春C応談；夏季休業中応談；秋A応談；秋B応談；秋C応談
担当教員	教育学類長, 名畑目 真吾, 遠藤 優介, 唐木 清志, 朝倉 雅史
授業概要	この授業では、学校教育現場或いは地域教育現場のいずれか一方の教育現場を選び、主として開講期間中に合計で2日間程度、実際にその教育現場を訪問し、当該教育現場においてどのような教育活動が展開されているかを観察することを目的とする。
備考	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	(汎用コンピテンス) 6. 協働性・主体性・自律性 (専門コンピテンス) 2. 教育学の基礎的体系的知識 4. 教育学的実践力
授業の到達目標（学修成果）	・教育現場訪問を通して教育現場の実態に触れ、現場主義の発想に立つて教育研究を進めることの重要性を認識することができる。 ・教育現場訪問の経験をもとに教育課題を捉え直し、自身の今後の学びの視点を明確化することができる。
授業計画	原則、二日間(訪問先によっては数日間)の時間数、訪問観察をする。 ※1 教育現場への訪問は原則として開講期間中(春C、秋AB、秋C)となっているが、最終的には受入先との調整によって確定するため、必ずしも受講者の第一希望通りになるとは限らない。 ※2 訪問場所については、いくつか候補を提示するので、基本的に受講者はその中から選択し訪問する。 ※3 観察記録をつけ、担当教員に提出する。
成績評価方法	以下の2点について評価し、総合して判断する。 (1) 訪問先での活動状況(規定日数) (2) 観察記録及び最終レポートを提出し、合格すること。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	教育現場への訪問前に、「教育インターンシップ基礎論」で検討した参与観察の視点について振り返るとともに、自身の訪問先の教育に関する基本情報等について調べること。また、訪問後は自身の活動を振り返り、最終レポートとしてまとめること。
教材・参考文献・配付資料等	指定なし
オフィスアワー等（連絡先含む）	各担当教員に事前連絡をしてから訪問すること。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	有意義な経験となるよう、積極的・能動的な参与観察を心がけてほしい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチング	なし

アシスタント (TA)	
キーワード	インターンシップ, 教育現場訪問